

【基礎研修(1)(2)講義科目】

| 区分 | プログラム | 講師 * 敬称略、所属は収録時情報 | 収録 | 公開 | |
|---------------------|-------|---|--------|------------|------------|
| 基礎研修(1) 該当 8 科目 | がん対策 | 厚生労働省健康局 がん・疾病対策課 | 向井 洋介 | 2019 年 6 月 | 2020 年 1 月 |
| | 相談支援 | 杏林大学医学部附属病院 看護部 | 坂元 敦子 | 2018 年 4 月 | 2019 年 3 月 |
| | 社会資源 | 国立がん研究センター東病院 サポーターブケアセンター ／がん相談支援センター | 坂本 はと恵 | 2019 年 9 月 | 2020 年 1 月 |
| | 臨床腫瘍学 | 国立がん研究センター中央病院 呼吸器内科 | 堀之内 秀仁 | 2017 年 6 月 | 2018 年 2 月 |
| | 緩和ケア | 国立がん研究センター中央病院 緩和医療科 | 石木 寛人 | 2018 年 6 月 | 2019 年 3 月 |
| | 精神腫瘍学 | 国立がん研究センター東病院 精神腫瘍科 | 小川 朝生 | 2017 年 6 月 | 2018 年 2 月 |
| | 放射線治療 | 国立がん研究センター中央病院 放射線治療科 | 井垣 浩 | 2019 年 6 月 | 2020 年 1 月 |
| | 薬物療法 | 国立がん研究センター中央病院 乳腺・腫瘍内科 | 野口 瑛美 | 2018 年 6 月 | 2019 年 3 月 |
| 基礎研修(2) 該当 11 科目 | がん予防 | 国立がん研究センター 社会と健康研究センター 予防研究部 | 島津 太一 | 2017 年 6 月 | 2018 年 2 月 |
| | がん検診 | 社会と健康研究センター 検診研 究部 検診実施管理研究室 がん対策情報センター がん医療 支援部 検診実施管理支援室 | 高橋 宏和 | 2018 年 6 月 | 2019 年 3 月 |

| | | | | | |
|--|----------------|---|--------------------------|---------|---------|
| | 診療ガイドライン・エビデンス | 国立がん研究センター がん対策情報センター | 八巻 知香子 富塚 太郎 櫻井 雅代 | 2017年6月 | 2018年2月 |
| | 支持療法 | 国立がん研究センター中央病院 看護部 | 藤井 恵美 | 2019年6月 | 2020年1月 |
| | 臨床試験 | 国立がん研究センター中央病院 臨床研究支援部門 研究企画推進部多施設研究支援室 | 江場 淳子 | 2019年6月 | 2020年1月 |
| | 肺がん | 国立がん研究センター中央病院 呼吸器内科 | 堀之内 秀仁 | 2018年6月 | 2019年3月 |
| | 乳がん | 国立がん研究センター中央病院 乳腺・腫瘍内科 | 野口 瑛美 | 2019年6月 | 2020年1月 |
| | 大腸がん | 国立がん研究センター中央病院 消化管内科 | 高島 淳生 | 2019年6月 | 2020年1月 |
| | 胃がん | 国立がん研究センター中央病院 消化管内科 | 高島 淳生 | 2017年6月 | 2018年2月 |
| | 相談対応の質評価 | 国立がん研究センター がん対策情報センター | 高山 智子 | 2017年6月 | 2018年4月 |
| | 肝胆膵がん | 国立がん研究センター中央病院 肝胆膵内科 | 奥坂 拓志 | 2019年6月 | 2020年1月 |

【基礎研修(1)(2)講義内容詳細】

| 区分 | プログラム | 講義内容詳細 | 内容分類 |
|--------------------|--|--|------|
| 基礎研修(1) 該当 8 科目 | がん対策 | <p>がんはわが国の死因の第 1 位であり、約 2 人に 1 人ががんになる。本講義では、国ががん対策基本法に基づいて策定しているがん対策推進基本計画と、第 3 期がん対策推進基本計画に沿った国のがん対策の概要を紹介する。具体的には、これまでのがん対策の経緯、がんの予防・早期発見(がん検診)、がん診療連携拠点病院等、がんゲノム医療、小児がん・AYA 世代のがん、緩和ケアの推進を紹介する。</p> <p>【キーワード】がん対策基本法、第 3 期がん対策推進基本計画</p> | 基盤科目 |
| | 相談支援 | <p>がん専門相談員は、患者や家族等の相談者がその人らしい生活や治療選択ができるように支援することを役割とする。本講義では、日本のがん対策の中でのがん専門相談員の位置づけを歴史的経緯を踏まえて説明した後、がん専門相談員にとって業務の指針となる、がん相談支援センターやがん専門相談員に求められる基本姿勢、International Cancer Information Service Group (ICISG)の“Core Values”、がん相談 10 の原則、がん相談支援のプロセスについて詳しく解説する。</p> <p>【キーワード】がん専門相談員、基本姿勢、Core Values、がん相談 10 の原則、がん相談支援のプロセス</p> | 基盤科目 |
| | 社会資源 | <p>がん患者とその家族は、がんに罹患することにより、様々な社会的・経済的問題を抱える。本講義では、がん患者と家族が持つ社会的・経済的問題を解決するために有用である社会資源の種類とそれらの特徴を紹介する。また、具体的事例を紹介するとともに、社会資源の利用を推奨する際の留意点について解説する。</p> <p>【キーワード】社会資源、公的制度、社会的・経済的問題</p> | 基礎科目 |
| | 臨床腫瘍学 | <p>各種がんの治療を理解するためには、がん治療の基本的考え方を知っておく必要がある。本講義では、がんの原因やがん検診、がんの性質やがん治療の考え方を概説し、最近注目されている precision medicine について紹介する。最後に、薬剤の開発の流れと、薬剤の進歩とともに注目される支持療法・保管代替療法について概説する。</p> <p>【キーワード】喫煙、がんの原因、がん検診、がん治療、PS、precision medicine、セカンドオピニオン、手術療法、化学療法、放射線療法、支持療法、補完代替療法</p> | 基礎科目 |
| | 緩和ケア | <p>緩和ケアは患者・家族の苦痛を予測・予防・軽減する医療であり、がんと診断されたときから緩和ケアを受けることが効果的とされる。本講義では、緩和ケアの目標を復習し、身体的苦痛・精神的苦痛・社会的苦痛・スピリチュアルな苦痛の内容を概説する。また、自宅での最期を希望する患者が多く、緩和ケアは在宅の場でも実施される必要がある。最後に、緩和ケアをおこなっていくために緩和ケアをおこなう人材育成等の現状も紹介する。</p> <p>【キーワード】緩和ケア、苦痛、終末期、在宅医療連携、がん疼痛</p> | 基礎科目 |
| 精神腫瘍学 | <p>がん患者や家族は精神心理的苦痛を抱えており、精神心理的支援が必要である。本講義では、精神心理的支援の内容(情報提供、情緒的な支援、問題</p> | 基礎科目 | |

| | | | |
|---------------------|----------------|--|--------|
| | | <p>の同定、セルフマネジメントの強化、専門的な支援への引き継ぎ等)と、拠点病院における精神心理的支援の提供体制を概説する。</p> <p>【キーワード】精神心理的苦痛、緩和ケア、レジリエンス、トラウマ、ストレス、家族、ピアサポート、セルフヘルプグループ、うつ病</p> | |
| | 放射線治療 | <p>放射線治療は、手術・化学療法と並んで、がんの三大治療の一つである。本講義では、放射線治療の目的や放射線治療の装置と特徴等の基本的知識、サイバーナイフや粒子線といった最新の放射線技術、各種がんにおける放射線治療の目的、放射線治療の流れとスケジュール、放射線治療の副作用と対策、そして費用について解説をする。</p> <p>【キーワード】放射線治療、IMRT、放射線治療装置、粒子線、根治治療、緩和治療、治療開始までの流れ、副作用、費用</p> | 基礎科目 |
| | 薬物療法 | <p>薬物療法はがんの三大治療のうちの一つで、手術や放射線治療と組み合わせて集学的治療が実施されることが多い。本講義では、がん薬物療法の目的、がん薬物療法薬の種類、がん薬物療法の流れ・適応、そして副作用について具体的に紹介する。また、がん治療の経済的毒性と医療費についても概説する。</p> <p>【キーワード】薬物療法、分子標的薬、内分泌療法薬、免疫療法、副作用、免疫チェックポイント阻害薬、生殖機能、医療費</p> | 基礎科目 |
| 基礎研修(2) 該当 11 科目 | がん予防 | <p>がんは日本人の死因の 1 位であり、日本人にとって身近な病気である。がんの予防は多くの人の関心を集めるテーマであり、本講義では、先ずがんが予防できるのかを研究結果をもとに概説する。また、健康情報の信頼性を判断するための方法を説明する。最後に日本人のためのがん予防法について、現在明らかになっている知見を紹介する。</p> <p>【キーワード】がん予防、健康情報、信頼性、がん予防法</p> | 実践応用科目 |
| | がん検診 | <p>がん検診では、がん罹患している者や疑いのある者を早めに発見し、必要かつ適切な検査・治療につなげることで、がんの死亡者の減少を目指す。本講義では、がん検診の目的と考え方・評価の方法、対策型検診として現在推奨されている各検診について、紹介する。その後、がん検診での精度管理のための方法や、がん検診の利益・不利益、がん検診の問題点について説明する。</p> <p>【キーワード】がん検診、健診、感度、特異度、精度管理、受診率、過剰診断</p> | 実践応用科目 |
| | 診療ガイドライン・エビデンス | <p>患者や家族は、科学的根拠に基づく信頼できる情報を入手することにより、その人らしい生活や治療選択が出来るようになる。本講義では、先ずがん専門相談員による情報支援の必要性について概説する。その後、信頼できる医療情報源の一つである診療ガイドラインがどのように作成されるか、診療ガイドラインにおけるエビデンスの見方を紹介する。最後に、診療ガイドラインの実際の活用方法と活用の留意点について紹介する。</p> <p>【キーワード】がん情報、がん相談支援センター、情報支援、診療ガイドライン、エビデンス</p> | 実践応用科目 |
| | 支持療法 | <p>がん治療をおこなうにあたって、副作用や合併症の出現は不可避である。本講義では、先ずがん患者の多様な気付きや困りごとを、データに基づいて解説する。次に、手術療法・化学療法・放射線療法でおこりやすい副作用・合</p> | 実践応用科目 |

| | | |
|-------|---|--------|
| | 併症と、それぞれの症状に対するケアや日常生活上の工夫について具体的に紹介する。 【キーワード】がん治療、支持療法、副作用、合併症、悪心・嘔吐、末梢神経障害、皮膚障害、口内炎、脱毛、リンパ浮腫 | |
| 臨床試験 | 最良の治療である標準治療の確立をするためには、臨床試験が必要となる。本講義では、先ず治療開発における臨床試験の位置づけや臨床試験の種類、臨床試験情報の探し方と日本の臨床試験登録システムについて紹介する。また、仮想事例をもとに、患者からの臨床試験の相談対応の方法を解説する。 【キーワード】臨床試験、標準治療、第Ⅰ相試験、第Ⅱ相試験、第Ⅲ相試験、治験、未承認薬、適応外薬、先進医療、患者申出療養、拡大治験、臨床試験登録システム | 実践応用科目 |
| 肺がん | 肺がんの死亡数は男性で1位、女性で2位であり、日本人にとって大変身近ながんである。本講義では、肺の構造や機能、肺がんの死亡数・危険因子という基礎知識をおさえる。次に、肺がんの診断、検査、進行度分類、組織や特徴による分類について解説した後、治療の選択方法・手術・薬物治療・放射線治療・緩和ケアについて概説する。 【キーワード】肺、死亡数、危険因子、気管支鏡検査、PS | 各論専門科目 |
| 乳がん | 乳がんの罹患者数は増え、女性の11人に1人は乳がんを患っている。本講義では、乳房の構造と乳がん、日本における乳がんの罹患率と死亡率、乳がん発症に関連する因子、乳がん検診について紹介する。次に、乳がんの症状、マンモグラフィや病理組織学的検査といった乳がんの検査、乳がんの診断と分類を概説する。治療では、乳房再建術を含めた手術療法、放射線療法、薬物療法を、そして妊孕性温存や化学療法の費用について紹介する。 【キーワード】乳房、マンモグラフィ、サブタイプ分類、早期乳がん、乳房再建術、進行・再発乳がん、内分泌療法、免疫チェックポイント阻害剤 | 各論専門科目 |
| 大腸がん | ここ50年で大腸がんによる死亡数は約10倍増加している。本講義では、大腸がん部位別発症頻度や大腸癌の死亡数・リスク、診断や分類等についてまず解説する。次に、進行度別治療法を紹介した上で、大腸がんの治療法を具体的に説明する。手術では内視鏡や人工肛門増設術等について、化学療法では用いられる薬剤の成績と副作用について、最後に一般的な質問事項について説明する。 【キーワード】内視鏡、内視鏡的治療、ストーマ、術後補助療法、切除不能再発大腸がん、副作用、緩和ケア | 各論専門科目 |
| 胃がん | 胃がんは日本でもっとも頻度の高いがん種であり、世界的にも罹患率および死亡率が高いがんとされる。本講義では、先ず胃がんの罹患数と死亡数、危険因子、症状、分類について概説する。また、ステージに応じた治療として、内視鏡的切除を含めた外科切除、術後補助化学療法と緩和的化学療法で使用する薬剤や治療成績を紹介する。 【キーワード】死亡数、罹患数、危険因子、ピロリ菌、症状、組織型分類、進行度分類、内視鏡的切除、術後補助化学療法、緩和的化学療法 | 各論専門科目 |
| 相談対応の | がん患者・家族の問題・課題に適切に対応するために、相談支援の質を向上 | 実践応用 |

| | | | |
|--|--------------|---|---------------|
| | <p>質評価</p> | <p>させることは大変重要な課題である。本講義では、がん相談支援センターがめざすものやがん専門相談員の役割を改めて確認したのち、がん相談支援センターで提供されるべき品質基準について考える。また、品質基準が満たされているかどうか確認するためのツールの1つである「がん相談対応評価表」の内容と使い方を紹介する。</p> <p>【キーワード】がん相談支援センター、がん専門相談員、品質管理、品質保証、品質基準、がん相談対応評価表</p> | <p>科目</p> |
| | <p>肝胆膵がん</p> | <p>肝がん、胆道がん、膵がんは、いずれも難治性のがんである。本講義では、これら3つのがんの原因や診断・治療について、それぞれ概説していく。具体的には、肝がんでは肝炎と肝がんの関連、ラジオ療法等の局所治療を含めた治療法、医療費、胆道がんでは診断、治療法の選択と内容(特に化学療法の進歩)、膵臓がんでは診断、治療を切除例・局所進行例・遠隔転移例・免疫療法にわけて解説する。</p> <p>【キーワード】肝がん、肝炎、局所療法、胆道がん、膵がん、免疫療法</p> | <p>各論専門科目</p> |